

令和8年3月6日

各報道機関担当記者 様

大学院教育の共創拠点を目指す 大学院教育先導機構キックオフシンポジウムを開催

金沢大学は、昨年9月、文部科学省令和7年度「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（FLAGs: Future-Leading and Advanced Graduate-schools）」に北陸先端科学技術大学院大学を連携大学、富山大学および福井大学を参画大学として申請し、採択されました。

同事業のもと令和8年4月に新たに設置予定の大学院教育先導機構（OEGE）を中心とする大学院教育改革を加速させるため、キックオフシンポジウムを下記のとおり開催します。

本シンポジウムでは、大学院教育改革ビジョンを広く社会の皆さまと共有するとともに、社会と協働して博士人材を育成していくための今後の取組構想について紹介する予定です。大学院教育改革の加速に向けた第一歩とし、次代を担う博士人材を育成する共創の輪を広げる機会とします。

ついては、本イベントについての取材・報道をよろしくお願いします。

記

金沢大学大学院教育先導機構キックオフシンポジウム －多面的な連携が生み出す「知」の共創と往還による 新価値創造人材の育成・輩出拠点を目指して－

開催日時： 令和8年3月16日（月）10:00～15:00

〈第1部〉大学院教育改革のビジョン 10:00～11:30

〈第2部〉共創で育む博士人材 12:30～15:00

会場： ハイアットセントリック金沢2階「イベントスペース」
（石川県金沢市広岡1-5-2）

※会場・オンラインのハイブリッド開催

対象： 大学関係者ほか、どなたでも参加可能

内容： 詳細は別紙チラシを参照ください。

取材希望の際は、別添「取材申込書」を3月12日（木）12:00までにご提出ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢大学 学務部学務課学務企画係 嘉信（かしん）

TEL：076-264-5199

090-1632-7253（当日のみ）

E-mail：gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

取材を希望する場合は、本申込書を

**3月12日(木) 12:00までに下記担当へ
メールにて送付願います。**

担 当：金沢大学 学務部学務課学務企画係
嘉信（かしん）

E-mail：gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

別添

申込日：令和8年 月 日

3/16（月） 大学院教育の共創拠点を目指す 大学院教育先導機構キックオフシンポジウムを開催

取材申込書

下記の事項について、ご記入をお願いします。

報道機関名：_____

取材記者名：_____様

連 絡 先：_____

同行者（記者を除く）：_____名

カメラ等の内訳（台数）：_____

（例）テレビカメラ 1台

取 材 予 定： 全体 ・ 第1部のみ ・ 第2部のみ （いずれかに○）

＜取材に関してのお願い＞

- ① 受付の際は名刺等をご提示願います。
- ② 取材の際は、自社腕章を必ず着用の上、担当者の指示に従ってください。
- ③ 当日は、第1部は9時50分までに、第2部は12時20分までに受付を完了してください。

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢大学 学務部学務課学務企画係 嘉信（かしん）

TEL：076-264-5199

090-1632-7253（当日のみ）

E-mail：gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院教育先導機構

キックオフシンポジウム

—多面的な連携が生み出す「知」の共創と往還による
新価値創造人材の育成・輩出拠点を目指して—

2026.3.16 [月]

10:00-15:00 (受付開始 9:30-)

開催形式 ハイブリッド (会場参加・オンライン)

定員：会場参加100名・オンライン300名 (先着順)

会場 ハイアットセントリック金沢 2階
イベントスペース

(石川県金沢市広岡1-5-2, 金沢駅西口より徒歩すぐ)

参加費無料

大学関係者ほかどなたでもご参加いただけます
昼食は各自ご用意ください

文部科学省令和7年度「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業 (FLAGs)」に採択され、金沢大学は、連携大学である北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST) との連携のもと、新たに設置する大学院教育先導機構 (OEGE) が中心となり、国内外の多様なセクターと共創し、開かれた大学院教育への転換を目指しています。

本シンポジウムでは、大学院教育改革のビジョンと展望を共有し、「知」の共創と往還による新たな博士人材育成の可能性を探ります。大学院教育の加速に向けた第一歩とし、次代を担う博士人材を育成する共創の輪を広げる機会とします。

お申し込みはこちら

二次元コードまたは下記URLから事前申し込みをお願いいたします

申込期限：2026年3月12日 (木)

<https://forms.cloud.microsoft/r/mS2BYx6ewb>

※お預かりした個人情報は本シンポジウム運営業務以外には使用いたしません。



[連携機関] 連携大学：北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)

参画大学：富山大学・福井大学

第1部 大学院教育改革のビジョン

10:00 開会挨拶 和田 隆志 金沢大学長

10:10 来賓挨拶

永見 浩輔 文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学院振興専門官

10:20 特別講演

「電通大が進める
日本版Industrial PhD制度の意義と概要」

田野 俊一 電気通信大学長

10:50 金沢大学の取組み

森本 章治 金沢大学 理事 (総括・大学改革・教育・情報担当) / 副学長

11:10 JAISTの取組み

飯田 弘之 北陸先端科学技術大学院大学 理事 (学生・教育連携担当) / 副学長

11:30 休憩

第2部 共創で育む博士人材

12:30 イントロダクションー大学院教育改革構想

坂本 二郎 金沢大学FLAGs事業責任者 / 学長補佐 (研究力強化・社会共創推進担当)

12:45 講演 1 社会の成長と博士人材の可能性

「民間企業や行政における博士人材への期待」

石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部長 /
チーフエコノミスト / 主席研究員

13:30 講演 2 社会と共創する博士教育の実践

「専門的知見と実践の融合で次世代人材の
創出を目指す分野横断型PBL」

井熊 均 株式会社RICH代表取締役

13:55 休憩

14:05 クロストーク

井熊 均 株式会社RICH代表取締役

小沼 実香 ロート製薬株式会社 基盤技術研究部 素材系研究グループ (研究職)

小林 和樹 金沢大学ダイヤモンド研究センター 特任助教 /
株式会社Kanazawa Diamond 代表取締役

上原 隆平 北陸先端科学技術大学院大学 副学長 (研究科改革担当) /
先端科学技術研究科長

森本 章治 金沢大学 理事 (総括・大学改革・教育・情報担当) / 副学長

●モデレーター：坂本 二郎 金沢大学FLAGs事業責任者

14:50 閉会挨拶 寺野 稔 北陸先端科学技術大学院大学長

PROFILE

金沢大学大学院教育先端機構 キックオフシンポジウム

「多面的な連携が生み出す「知」の共創と往還による新価値創造人材の育成・輩出拠点を目指して」



第1部 特別講演

「電通大が進める日本版 Industrial PhD制度の意義と概要」

田野 俊一 電気通信大学長

1983年東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程修了。博士（工学）。日立製作所、国際ファジィ工学研究所、MIT・CMU研究員、電気通信大学教授、副学長等を経て、2020年4月より同大学長を務める。2026年3月、任期満了に伴い退任予定。専門はAI、HCI、Fuzzy。同年4月より電気通信大学日本版Industrial PhD推進機構長。

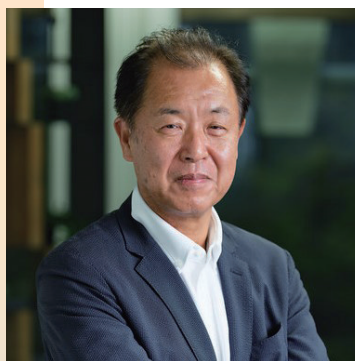


第2部 講演1

「民間企業や行政における 博士人材への期待」

石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部長 / チーフエコノミスト / 主席研究員

1997年東京大学経済学部卒、三井住友銀行、日本経済研究センター（出向）、内閣府政策企画調査官（経済社会システム）を経て2023年8月より現職。専門はマクロ経済、EBPM、地方経済。筑波大学資金運用委員会委員も務める。日本総合研究所においては、経済研究のほか、部門運営や海外大学・シンクタンク提携等にも従事。



第2部 講演2

「専門的知見と実践の融合で次世代人材の 創出を目指す分野横断型PBL」

井熊 均 株式会社 RICH 代表取締役

1983年早稲田大学大学院理工学研究科修了、三菱重工業株式会社入社。1990年株式会社日本総合研究所入社。同社専務執行役員を経て2020年北陸先端科学技術大学院大学経営協議会委員。2021年北陸産業活性化センターエグゼクティブ・フェロー・RDX推進室長。2023年株式会社RICH代表取締役。多数のベンチャー企業の経営に関わり70冊を超える書籍を執筆。



クロストーク —金沢大学博士後期・博士課程修了者



小沼 実香

ロート製薬株式会社 基盤技術研究部
素材系研究グループ（研究職）

医薬保健学総合研究科・薬学専攻 / 2023年3月修了・博士（薬学）



金沢大学大学院の生薬学研究室で薬用植物の栽培研究に取り組み、博士学位を取得。現在は医薬品・化粧品メーカーで植物由来原料の研究開発に携わる。異なる文化や歴史に触れることも大切にしている。専門にとらわれない視野と好奇心を原動力に、出口の見えない課題にも向き合い続けられる博士を目指す。



小林 和樹

金沢大学ダイヤモンド研究センター 特任助教 /
株式会社 Kanazawa Diamond 代表取締役

自然科学研究科・電子情報科学専攻 / 2025年3月修了・博士（工学）



博士前期課程1年次に大学発ベンチャー「株式会社Kanazawa Diamond」を起業。ダイヤモンドの社会実装を目指しており、大学は半導体応用研究、会社では宝石事業の立ち上げの両輪で活動している。卓越大学院プログラムで培った研究力と経営視点を融合し、「学術」と「産業」の循環の中で、世界的競争力のあるダイヤモンドメーカーの創出を目指す。